

## J R河川橋梁対策検討会 概要

1. 日 時： 令和3年9月28日（火）14：00～15：00
2. 場 所： 中央合同庁舎3号館4階 幹部会議室
3. 結果概要：

○ 冒頭、赤羽大臣から挨拶があり、事務局より配布資料に沿って説明の後、JR各社と意見交換が行われた。意見交換における主な発言は、以下のとおり。

### （JR各社）

- ・ これまでもハード、ソフト両面から様々な対策を進めてきたが、被災を未然に防ぐ観点から、しっかり総点検を行い、安全確保に努めていきたい。
- ・ 災害が頻発化・激甚化している中、原形復旧ではなく、再度の被災を防止するための工事が必要であると考えており、支援際にはご配慮いただきたい。
- ・ 橋梁に対する対策だけでは被害は防げないため、河川改修の計画的な実施が肝要。一級河川のみならず二級河川も多いため、河川管理者への国からの指導や河川管理者とのスムーズな協議に向けた協力をお願いしたい。
- ・ 対策工を柔軟な形で行うことについてご配慮いただきたい。
- ・ 今回の点検への助言や点検結果を踏まえた対策等について、国からご支援いただきたい。

### （赤羽大臣）

- ・ 現在、国・自治体等が一体となって水系全体を俯瞰して取組を行う「流域治水プロジェクト」を進めており、鉄道事業者も是非参画頂きたい。
- ・ 橋梁全てを取り換えると費用も膨大であるため、部分的な補強等の対策など、できることからやっていただきたい。

### （国土交通省）

- ・ 点検に際しては鉄道局や地方運輸局からも職員を派遣し、一緒に点検を行っていきたい。
- ・ 災害復旧に当たっては、既存の補助制度を活用して、引き続きしっかり支援していきたい。
- ・ 災害復旧においては、再度災害を防止するため改良復旧が必要であるが、被災後すぐに動けるようにあらかじめ改良した時の姿を作っておくことが重要。河川管理者にも指導を進め、早急に対応できるようにしていきたい。
- ・ 老朽化対策の観点から、橋梁1か所ごとではなく、架け替えが必要な橋梁全体を見据えたアセットマネジメントが必要ではないか。
- ・ 河川改修は規模が大きくどうしても順番待ちになってしまうため、当面の間は、今の構造物を改良する形で対応して頂きたいと思う。

○ 今後は、事務局から説明した今後の進め方に沿って進めることとし、具体的な点検の方法等については、今後、実務レベルでの検討を進めることとした。